



■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE Nagoya 2016(v3.0)

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
周辺には住宅や公園、学校、スポーツセンター、図書館があり、暮らしやすい活気のある地域である。		特になし。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
自然換気有効開口面積が大きく、自然環境を利用できる環境を整えている。	天井高や階高にゆとりがあり、建物の利用者にとって快適性が得られている。主要内装仕上材は耐用年数の長い部材を使用しており、建物の長寿化を図っている。	屋根に大きな勾配はなく、圧迫感を感じさせない高さとなっている。周辺は緑の多い地域であり、植栽により一体感のあるまちなみを形成している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明器具の採用により、設備システムの高効率化を図っている。	OAフロアを使用して、解体時におけるリサイクルを促進する対策が取られている。	駐輪場や、駐車場を確保しており、建物の運用時に交通負荷が発生しないよう取組みを行っている。光害の対策を十分に行っており、環境配慮に努めている。

1/2

重点項目スコア・結果シート

千種区役所仮設庁舎賃貸借

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.3
LR1	エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.6	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				1.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.7
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.6	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.3



2. 自然共生

評価点 = 1.9



3. 循環型社会

評価点 = 2.7



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。